

(案)

下再審第号

平成29年7月日

下田市教育委員会  
教育長 佐々木 文夫 様

下田市立学校等再編整備審議会  
会長 渡邊久志

学校再編整備について（答申）

平成29年4月27日付け下教学第191号により諮詢のありました標記の件につきまして、本審議会では慎重に審議を重ねた結果、下記のとおり答申いたします。

記

1 下田市立中学校の再編整備について

(1) 再編手法及び校舎位置について

今後の生徒数、既存学校施設状況、周辺環境などを含め、総合的に検討した結果、より良い生徒の学習環境を創造するためには、現在の下田中学校敷地を利用し、4校を1校化する新たな中学校を設置すべきである。

(2) 通学補助について

市内全域での中学校再編であるため、これまで以上に生徒・保護者に負担を強いること、通学に係る時間及び経費が掛かることが想定される。経費については、行政が負担することが理想であるが、市の財政状況を考慮しつつ、生徒・保護者に対する負担を極力減らし、且つ持続可能で生徒によって不公平が出ない方策を早急に検討すべきである。

(3) 建設手法について

既存学校施設を活用した大規模改修を取り入れ、生徒の学習環境を最優先に考えた施設整備を行うべきである。

#### (4) その他について

##### ア 中学校再編の時期について

現在、平成33年度以降のできるだけ早い時期に中学校再編を行うとした上で協議を進めているが、具体的な時期について、早急に明らかにすること。

##### イ 通学に係る安全対策について

通学に係る安全対策については、最低限確保されるべき問題であり、自宅と学校との間を安全に登下校できる環境整備を最優先で検討すること。

##### ウ 再編時期にあたる生徒への配慮について

再編時期にあたる生徒に対しては、事前に学校間交流などを実施することにより、生徒たちの不安を可能な限り解消すること。また、下田中において仮設校舎となる環境になった場合には、その中でもより良い環境を目指し、細かな配慮をすること。

##### エ 保護者に対する説明会開催について

当審議会の答申後、保護者に対し説明会を開催するとともに、市当局として具体的な方策を持って望むこと。

##### オ 下田市立学校統合準備委員会について

当審議会の答申後、下田市教育委員会の諮問機関である「下田市立学校統合準備委員会」において、中学校再編に係る具体的な協議に入ると想定されるが、生徒の学習環境を守り、改善することを第一目的とするとともに、協議内容についても全ての子どもたち、保護者及び地域住民などに分かるよう情報提供を行うこと。

##### カ 中学校跡地利用について

中学校再編後の跡地利用については、今後のまちづくりの観点からも非常に重要なことから、地域住民などの意見を尊重し、慎重な検討を行うこと。

#### ※添付資料

下田市立学校等再編整備審議会開催経過及び審議会委員名簿

◎下田市立学校等再編整備審議会開催経過

日 程	事 項	内 容
平成 29 年 4 月 27 日	第 1 回審議会	諮詢、中学校再編経過説明
5 月 29 日	中学校視察及び 第 2 回審議会	稻生沢中学校及び下田中学校視察 中学校視察に関する意見交換 答申案作成に向けた検討
7 月 4 日	第 3 回審議会	中学校再編に関する答申案の協議及び決定
7 月 × 日	再編整備審議会答申	

(審議会会議録は、下田市公式ホームページに掲載)

◎下田市立学校等再編整備審議会委員

区 分	役職	氏 名	所 属 等
1 号委員 (地域の代表)		土屋 弘男	下田市区長連絡協議会代表(新田区長)
		和泉 哲夫	稲梓中学校校区長代表(加増野区長)
		相馬 俊雄	稻生沢中学校校区長代表(中 1 区長)
		長友 五郎	下田東中学校校区長代表(外浦区長)
		渡邊 角夫	下田中学校校区長代表(田牛区長)
2 号委員 (公共的団体の推薦者)	副会長	臼井 さおり	下田市 P T A 連絡協議会会长 (小学校代表) 大賀茂小 P T A 会長
		伊藤 拓也	下田市 P T A 連絡協議会次期会長 (中学校代表) 稲梓中 P T A 会長
		國分 敬治	下田幼稚園 P T A 会長
		鈴木 翼	下田保育所保護者代表
3 号委員 (市民代表)		古川 仁	
		渡邊 延江	
4 号委員 (学識経験者)	会長	渡邊 久志	元中学校長
		佐々木 義孝	元高等学校教頭
5 号委員 (教育委員会が必要と認める者)		鈴木 徹弥	下田市校長会会长(稻生沢中学校長)
		森本 幸平	小学校校長代表(下田小学校長)

(平成 29 年 4 月 27 日～7 月〇日)